

# 茨城県農産物販売推進東京本部情報

平成28年 10月

## 1 東京都中央卸売市場(平成28年9月)の青果物取扱について

- 市場全体では、キャベツ類、レタス類等葉物の入荷が好調であったものの、ダイコン、ニンジン等の根菜類の入荷量が、主産地北海道での台風に伴う長雨の影響による作柄低下や収穫作業の遅れに伴い大幅に減り、野菜の入荷量が平年比100%、果実は、くりの入荷量が台風の影響などによる落果により大幅に減少し、平年比96%、青果計では同100%であった。  
茨城は、9月の気温高によりピーマンやミニトマト等の果菜類、キャベツ類やレタス類等の葉菜類の入荷量が大幅に増えたことから野菜の入荷量が平年比106%、果実は豊水、くりの入荷量が少なく、平年比87%、青果計では平年比101%であった。
- 販売金額は、市場全体では先月に引き続き、入荷量減の影響により根菜類及びばれいしょ類、タマネギ等の価格が高値基調で推移したため野菜が平年比107%、果実は、なし類、ぶどう類の価格が堅調に推移し、平年比104%、青果計では同106%であった。茨城は、入荷量の多いキャベツ類、レタス類の価格が前年を下回るものの平年を上回り堅調に推移したことから野菜が平年比105%、果実は、なし類の入荷量が少なかったことから、平年比96%となった。
- 茨城県の1～9月計の青果物入荷量は平年比103%(シェア11.2%)、取扱金額は同112%(シェア10.3%)となった。

### 東京都中央卸売市場における青果物取扱数量及び金額(平成28年9月単月)

9月	市場計 ※2			茨城			千葉			
	野菜+果物	野菜	果物	野菜+果物	野菜	果物	野菜+果物	野菜	果物	
数量	H28	168,455	131,805	36,650	11,414	8,931	2,482	7,456	5,908	1,548
	H27	170,918	133,468	37,450	10,281	7,454	2,827	7,072	5,519	1,553
	(前年比)	(99)	(99)	(98)	(111)	(120)	(88)	(105)	(107)	(100)
	平年値※1	169,251	131,152	38,099	11,261	8,393	2,867	7,951	6,003	1,948
	(平年比)	(100)	(100)	(96)	(101)	(106)	(87)	(94)	(98)	(79)
金額	H28	49,066	35,600	13,466	4,115	3,273	842	2,265	1,854	411
	H27	51,015	37,961	13,053	4,297	3,487	810	2,450	2,041	409
	(前年比)	(96)	(94)	(103)	(96)	(94)	(104)	(92)	(91)	(101)
	平年値※1	46,080	33,126	12,953	3,981	3,106	875	2,484	1,942	542
	(平年比)	(106)	(107)	(104)	(103)	(105)	(96)	(91)	(95)	(76)

(単位：t, 百万円, %)

### 東京都中央卸売市場における青果物取扱数量及び金額(平成28年1～9月計)

	市場計 ※2			茨城			他県のシェア(1～9月計)			
	1～9月	年間計	年間比	1～9月	年間計	年間比	千葉	北海道	青森	
数量	H28	1,431,666		160,451	←シェア(11.2%)		11.7%	9.9%	5.9%	
	H27	1,445,142	1,997,926	72.3	153,430		11.3%	10.5%	6.0%	
	(前年比)	99			105	←シェア(10.6%)				
	平年値※1	1,469,206	2,021,004	72.7	156,110					
	(平年比)	97			103	←シェア(10.6%)				
金額	H28	423,092		43,706	←シェア(10.3%)		8.0%	5.8%	6.2%	
	H27	429,304	566,432	75.8	43,761		8.0%	5.9%	6.1%	
	(前年比)	99			100	←シェア(10.2%)				
	平年値※1	394,201	529,658	74.4	39,154					
	(平年比)	107			112	←シェア(9.9%)				

(単位：t, 百万円, %)

※1：平年値は平成22, 24, 25, 26, 27年の5カ年平均。  
 ※2：市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》  
 平成27年実績(1～12月計)  
 茨城県：金額シェア(10.0%)、数量シェア(11.1%)  
 千葉県：金額シェア(8.0%)、数量シェア(11.7%)  
 北海道：金額シェア(6.2%)、数量シェア(11.8%)  
 青森県：金額シェア(6.0%)、数量シェア(5.6%)

## 2 東京都中央卸売市場(平成28年9月単月)の茨城産青果物主要品目の取扱高

※平年比は、平年値に対する本年値の割合を表す。  
(平年値は平成22,24,25,26,27年の5ヵ年平均値)

野菜類の入荷量は8,931トン(前年比120%, 平年比106%), 単価は366円/kg(前年比78%, 平年比99%)。

果実類の入荷量は2,482トン(前年比88%, 平年比87%), 単価は339円/kg(前年比118%, 平年比111%)。

	品目	数量 t			単価 円/kg			金額 千円				
		前年比%	平年比%	平年比% (全国)	前年比%	平年比%	平年比% (全国)	前年比%	平年比%			
野菜	ピーマン	999	144	125	111	316	61	81	84	315,439	87	104
	トマト	908	176	107	116	276	68	70	78	250,420	120	77
	れんこん	778	87	87	89	535	102	124	123	415,760	89	108
	かんしょ	767	82	81	95	174	89	115	116	133,324	73	93
	きゅうり	703	127	100	104	303	80	102	100	213,247	102	104
	ミニトマト	524	137	150	135	462	62	68	76	241,908	85	102
	<b>野菜類計</b>	<b>8,931</b>	<b>120</b>	<b>106</b>	<b>100</b>	<b>366</b>	<b>78</b>	<b>98</b>	<b>107</b>	<b>3,272,999</b>	<b>94</b>	<b>105</b>
果実	日本なし類	1,748	95	93	95	250	108	93	95	437,618	103	87
	くり	417	63	72	67	713	169	175	163	297,487	107	125
	<b>果実類計</b>	<b>2,482</b>	<b>88</b>	<b>87</b>	<b>96</b>	<b>339</b>	<b>118</b>	<b>111</b>	<b>108</b>	<b>842,290</b>	<b>104</b>	<b>96</b>

- ・ピーマン 茨城県産ピーマンは、7月までの高温乾燥により着果、肥大とも停滞していたものの、8月の晴天と降雨により樹勢が回復し、着果、肥大とも順調に戻ったことから入荷量は平年比125%、市場全体でも同111%と多かった。7月までの反動により入荷量が回復したことから、単価は先月に引き続き下げ基調となり、茨城県産は前年比61%、平年比81%、金額は前年比87%、平年比104%であった。
  - ・トマト 茨城県産トマトは、8月の好天と9月の気温高により、着果、着色とも良好であり、入荷量は月間を通して安定し、平年比107%と多く、福島、千葉等の主産地からの入荷量も多かったため市場全体でも同116%であった。単価は、入荷量が非常に多かった8月下旬よりやや回復したものの、安値のまま推移し、茨城県産は前年比68%、平年比70%、金額は前年比120%、平年比77%であった。
  - ・れんこん 茨城県産レンコンは、8月の台風による地上部茎葉の破損、9月の長雨により曇天が続いた影響から、入荷量は平年比87%と少なく、市場全体でも同89%と少なかった。入荷量減の影響により、単価は先月に引き続き高値基調となり、茨城県産は前年比102%、平年比124%。金額は、前年比89%、平年比108%であった。
  - ・かんしょ 茨城県産かんしょは、生育、肥大とも良好であったものの、台風等による長雨の影響により、掘り取り作業が遅れていることから、入荷量は平年比81%、市場全体では近在産地の千葉県が同様に前年よりやや少なかったため同95%だった。単価は、入荷量が前年同月より少なかったものの今年の作付面積増や順調な生育状況による入荷量増加の予測から前年を下回り、茨城県産は前年比89%、平年比115%。金額は、前年比73%、平年比93%であった。
  - ・きゅうり 茨城県産きゅうりは、8月の好天に恵まれ9月上旬は生育、着果とも順調で入荷量も平年を上回ったが、中下旬は曇天が続いたことから、入荷量が減少し、月間を通じて平年比100%と平年並となった。市場全体では、主産地の福島、群馬からの入荷量が多かったため同104%と多かった。単価は、入荷量の少なかった前年同月を下回るも、9月中下旬にかけて上げ基調となり、茨城県産は前年比80%、平年比102%、金額は前年比102%、平年比104%であった。
  - ・ミニトマト 茨城県産ミニトマトは、8月の好天と9月の気温高により、生育、着果とも良好であり、8月に引き続き9月上旬の入荷量は前年、平年の2倍近くまで増加、中下旬に徐々に減少したものの、入荷量は月間を通して前年、平年を上回ったため平年比150%と非常に多かった。北海道、青森等の主産地からの入荷量も多かったため市場全体でも平年比135%と多かった。入荷量が潤沢であったことから単価は堅調であった先月から一転、下げ基調となり茨城県産は前年比62%、平年比68%、金額は前年比85%、平年比102%であった。
- (果実)
- ・日本なし類 茨城県産梨類は、「豊水」入荷量がやや減少したことから、入荷量は平年比93%、市場全体では同95%であった。単価は、盆明け後の安値から徐々に回復し9月下旬には平年を上回ったものの月間を通して平年を下回り、茨城県産は前年比108%、平年比93%、金額は前年比103%、平年比87%であった。

★詳細は、茨城県農産物販売推進東京本部 ホームページ「市場情報(青果物)」をご覧ください  
<http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/toryuse/data.html>